

■ 機能別の方向性の検討資料

令和2年11月14日・15日  
公共施設の再編ワークショップ（第1回）

資料3

No.	サービス機能	内容	主な施設分野	主な利用者	効果的な他機能との組み合わせ	40年後（R42）の利用者層の人口変化 ※H27との比較	市のコメント	市民の皆様が考える機能別の方向性	配置レベル
1	行政機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>行政手続きを申請する</li> <li>行政に相談をする</li> <li>証明書を受け取る</li> </ul>	市庁舎 出張所	行政サービスを必要とする市民	-	【総人口増減】 ▲12%  長期的には利用者数が減少	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も変わらず市民からのニーズが求められる機能である。</li> <li>情報技術の革新（オンラインやキャッシュレス機能）によりサービス提供が変化していく可能性があるため、出張所の必要性は中長期的には低くなることが考えられる。</li> </ul>	増加  現状維持  減少	市域
2	図書機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>図書等を閲覧する</li> <li>図書等を借りる</li> </ul>	図書館	広く一般に開放	集客を望む施設との複合化の可能性あり	【総人口増減】 ▲12%  長期的には利用者数が減少	<ul style="list-style-type: none"> <li>長期的には利用者の減少が見込まれるが、生涯学習機能、学校教育機能、子育て支援機能を補完する重要な機能であり、20万都市にふさわしい収容能力の不足が課題となっている。</li> <li>近年の貸出者数の推移は横ばいであるが、登録率の減少が続いており、来館以外の方策を検討する必要がある。</li> </ul>	増加  現状維持  減少	市域
3	生涯学習機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>講義を聞く、習う</li> <li>自己が学習する</li> <li>趣味等の活動を行う</li> </ul>	公民館 消費者センター 環境施設 その他の社会教育施設	広く一般に開放	図書機能 貸館機能 子育て支援機能（児童館） 福祉機能（高齢者福祉施設）	【15歳以上増減】 ▲9%  長期的には利用者数が減少	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民同士の交流や市民と行政の協働によって、地域活性化が図られるため、必要な機能である。</li> </ul>	増加  現状維持  減少	地域

No.	サービス機能	内容	主な施設分野	主な利用者	効果的な他機能との組み合わせ	40年後（R42）の利用者層の人口変化 ※H27との比較	市のコメント	市民の皆様が考える機能別の方向性	配置レベル
4	文化機能	・音楽、演劇等の芸術文化活動を鑑賞、観覧する ・発表会を行う、観覧する	文化施設	・広く一般に開放	—	【総人口増減】 ▲12%  長期的には利用者数が減少	・文化芸術活動の拠点として20万都市にふさわしい一定規模以上のスペースを市が確保し、提供していくことが期待されている。	増加 現状維持 減少	市域 (広域)
5	貸館機能	・会議、集会などを行う ・趣味等の活動を行う	市民交流施設	・広く一般に開放	様々な機能との複合化が想定される	【15歳以上増減】 ▲9%  長期的には利用者数が減少	・多くの公共施設に付随する機能であり、今後の人口減少社会も考慮すると、低利用の施設が増加する可能性がある。 ・貸館機能を有する施設については、利用対象者、利用区分等を改めて整理し、有効活用を検討する必要がある。	増加 現状維持 減少	地域
6	学校教育機能	・義務教育、特別支援教育を受ける ・学校行事を行う	小・中学校	・児童、生徒 ・保護者	図書機能 スポーツ機能	【5歳以上15歳未満増減】 ▲32%  長期的には利用者が減少	・義務教育、特別支援教育を行う学校教育機能は必要なサービス提供であるが、中長期的には年少人口の減少が見込まれる。	増加 現状維持 減少	地域

No.	サービス機能	内容	主な施設分野	主な利用者	効果的な他機能との組み合わせ	40年後（R42）の利用者層の人口変化 ※H27との比較	市のコメント	市民の皆様が考える機能別の方向性	配置レベル
7	子育て支援機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て支援を受ける</li> <li>・子どもが過ごす</li> <li>・子どもが遊ぶ</li> </ul>	児童館 学童クラブ 子ども総合支援施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの居場所は広く一般に開放</li> <li>・登録を受けた子ども</li> <li>・子育て広場事業は乳幼児と保護者</li> </ul>	図書機能 文化機能 学校教育機能（小学校） スポーツ機能	<p>【15歳未満増減】 ▲34%</p> <p>長期的には利用者が減少</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夫婦共働きの増加等により、子どもの居場所の必要性が高まると考えられるが、中長期的には年少人口の減少が見込まれる。</li> <li>・学童クラブについて、現状では供給不足となっているため、短期的には学校施設を活用した対応が考えられる。</li> </ul>	<p>増加</p> <p>現状維持</p> <p>減少</p>	地域
8	保育機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもを預ける</li> <li>・子どもが過ごす</li> </ul>	保育園	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登録を受けた未就学児</li> <li>・保護者</li> </ul>	学校教育機能（中学校） 子育て支援機能（子ども総合支援施設）	<p>【5歳未満増減】 ▲38%</p> <p>長期的には利用者が減少</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・短期的には、夫婦共働きの増加等による現状と変わらない需要が続くと考えられるが、中長期的には年少人口の減少が見込まれる。</li> <li>・基幹園としての地域の子育て拠点を確保しつつ、民間活用を進めていくことが考えられる。</li> </ul>	<p>増加</p> <p>現状維持</p> <p>減少</p>	<p>市域</p> <p>※基幹園は地域</p>
9	福祉機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種検診を受ける</li> <li>・高齢者が過ごす</li> <li>・介護サービスを受ける</li> <li>・障害者サービスを受ける、作業を行う</li> <li>・機能訓練を受ける</li> </ul>	保健福祉施設 高齢者福祉施設 障害者福祉施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種検診を受診及び各種健康事業に参加する市民</li> <li>・60歳以上の高齢者</li> <li>・介護サービスを必要とする市民</li> <li>・障害者サービスを必要とする市民</li> </ul>	生涯学習機能（公民館） 子育て支援機能（児童館）	<p>【65歳以上増減】 42%</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長期的には、高齢化（障害者の高齢化含む）が進むと見込まれ、行政としての役割が多く求められる可能性が高く、「健康」応援都市の実現のためには、必要な機能である。</li> </ul>	<p>増加</p> <p>現状維持</p> <p>減少</p>	<p>地域</p> <p>※保健福祉施設、障害福祉施設は市域</p>
10	スポーツ機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・球技、武道等を行う</li> <li>・水泳を行う</li> </ul>	スポーツ施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広く一般に開放</li> </ul>	貸館機能	<p>【総人口増減】 ▲12%</p> <p>長期的には利用者数が減少</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民間による類似機能が多数あることから、行政が担うべき範囲を定め、スポーツ活動の拠点として一定規模以上のスペースを市が確保し、サービス提供していくことが期待される。</li> </ul>	<p>増加</p> <p>現状維持</p> <p>減少</p>	広域（市域）